

○宇野 裕委員 それでは、要望を含めて三、四点質問をさせていただきたいと思います。

その前に、今回の台風の対応を初め、常日ごろ自然災害から県民の安心・安全の確保のために、県の職員の皆様方には大変御尽力をいただいておりますことを、この場をおかりしまして御礼を申し上げたいと思います。

それでは、質問をさせていただきたいと思います。なるべく簡潔に質問させていただきますので、よろしく願いいたします。

まず第1点目は、九十九里海岸の地元のことなんですが、九十九里海岸の津波対策についてお伺いをしたいと思います。さきの東日本大震災では、津波や液状化などで千葉県全域で甚大な被害を受けましたが、旭市では飯岡地区で最大7.6メートルの津波が来襲して多くの方々、とうとい命が犠牲になったと。津波の恐ろしさを改めて思い知ったわけですが、震災で被災した海岸の堤防などでは、迅速に災害復旧を県の皆様方にはしていただいたということで感謝を申し上げたいと思います。ただ、その後、今現在、さらに津波対策として堤防の高さを2メートルプラスですか、6メートルぐらいですか、かさ上げをする防潮堤の整備を実施中というふうに伺っております。

そこでお伺いをいたしますが、九十九里海岸の防潮堤の整備の現状と見通しはどうなっているのでしょうか、その辺のところをまず第1点目はお尋ねをしたいと思います。

○委員長（林 幹人君） 滝浪課長。

○説明者（滝浪河川整備課長） 河川整備課でございます。

九十九里沿岸の60キロメートルの津波対策でございますけれども、高さが不足している箇所から海岸堤防や保安林の砂丘堤のかさ上げなどを組み合わせて実施しているところでございます。このうち、海岸事業としまして整備が必要な延長は17キロメートルございまして、現在、津波の被害が著しかった旭市で約500メートルの工事を発注しているところでございます。九十九里沿岸は、旭市以外でも今年度から順次工事を着手いたしまして、平成27年度の完了を目指して対策の推進に努めてまいります。

以上でございます。

○委員長（林 幹人君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。27年度という期限が切られておりますが、大変現場の皆様方、御苦労が多いと思いますが、その目標に向けて頑張っていたきたいというふうに要望いたします。

次に、先ほどからお話が出ておりますけども、銚子連絡道路についてお尋ねをしたいと思います。この道路は、去る4月の27日には圏央道の東金―木更津間の42.9キロメートルが開通をいたしまして、ことしのゴールデンウィーク期間中の県内観光入り込み客数は、圏央道の開通効果もあって昨年に比べて約3割ぐらい伸びたという報告を聞いております。この銚子連絡道路についても、圏央道の開通効果を着実に海匝・銚子地域に結びつけていくことが極めて重要ではないかなというふうに私は考えております。また、今年度は横芝光インターチェンジ側で工事用道路などの本格的な動きが見えているなというふうに感じているところでございますが、そこで1点お伺いをしたいと思います。この銚子連絡道路の今年度の事業内容はどのようになっているのでしょうか、お尋ねいたします。

○委員長（林 幹人君） 鵜山課長。

○説明者（鵜山道路整備課長） 銚子連絡道路山武東総道路二期でございますけれども、圏央道の松尾横芝インターチェンジに接続しまして、圏央道と一体となりまして海匝・銚子地域と首都圏を初めとする各地域を連絡いたしまして、地域の発展を担う大変重要な道路だと県としても認識しております。そこで、今年度より用地取得体制を強化したところでございます。工事にも着手したところでございます。御質問の今年度の事業内容でございますけれども、横芝―光町区間につきましては、文化財調査を今進めているところでございます。そして、匝瑳市間につきましては、9月から用地交渉に着手したところでございます。

以上でございます。

○委員長（林 幹人君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 地元では、この銚子連絡道路の早期実現というか、早期完成というのを本当に念願をしております。いろいろな乗り越えなければならぬ問題はたくさんあると思いますけども、県当局の皆様方にはぜひ今後とも推進に向けて頑張っていたきたいとお願いを申し上げたいと思います。

もう1点は、今、水野委員から出たお話とちょっと重複しておりますけれども、改めてお伺いをしたいと思います。千葉県は観光立県というものを標榜して、今回の新総合計画の中にも観光というものに力を入れていこうというようなことが見えております。そういう中で道路の維持管理というのは非常に大事になってくるのかなというふうに私は思っております。特に、ここ数年なんですかね、道路ののり面、今お話しありました雑草が生えている箇所が結構見えているなということで心配をしております。観光立県でございますので、観光ルートに指定されている道路だとか、主要な道路、県が管理している道路の範疇の中で、その草刈り対策というか、そういうものを実施して、今されていると思っておりますけれども、どのような状況なのか、お尋ねをしたいと思います。

○委員長（林 幹人君） 町田副課長。

○説明者（町田道路環境課副課長） 除草の考え方につきましては、限られた予算の中で児童の安全確保のための通学路ですとか、見通しの悪い箇所、交通の支障となっている箇所から順次実施しているという状況でございます。

○委員長（林 幹人君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 これは要望なんですけれども、これから来年度予算の財政当局との話し合いがあろうかと思っておりますけれども、こういう点について県土整備部として予算を前年以上につけられるような努力をぜひしていただきたいというふうに思います。

それでは最後に、東総広域農道の県道への昇格についてお尋ねをしたいと思います。この東総広域農道というのは、延長19.8キロメートルの道路でありまして、もう既に供用して長い年月がたっております。そして、現在は関係する地元の市町によって管理をされていると。そして、この道路は、御案内のとおり、西端は匝瑳市域で国道296号線へ直接結ばれております。また、東端は主要地方道銚子海上線を経て利根かもめ大橋から茨城県神栖方面へ通じていることから、その交通量というのは周辺の国道、県道に匹敵するものがあります。現状で広域的な幹線道路としての機能をもう既に果たしているのではないかなというふうに私は思っております。

こういうことから、この広域農道を県道とすべきとの考えに私は立ちまして、平成22年6月の一般質問において、東総地域の道路再編について質問をさせていただいたところでございます。さらに、最近の動きであります、地元の匝瑳市、旭市、多古町の首長さ

んとも広域農道を含めた東総地域の道路再編について協議を重ね、広域農道について県道に昇格すべきとの意思統一が図られているというところを聞いているところでございます。

そこで、1点お伺いをしたいと思います。東総地区の広域農道を県道へ昇格すべきと思うが、お聞かせをいただきたいと思います。

以上です。

○委員長（林 幹人君） 町田副課長。

○説明者（町田道路環境課副課長） 東総広域農道は、農業振興に資することはもとより、地域の経済、産業にとって大きな機能を果たしている道路であると認識しております。県道の昇格につきましては、道路網の密度も多く、新たな路線認定は非常に厳しい状況にあります。したがって、広域農道の県道昇格につきましては、沿線住民の合意ですとか道路構造についての確認など課題がありますが、近接して並行する県道と交換するなどの方法もあります。今後、県道昇格に向けまして、地元において考え方を整理していただくとともに、関係市町と連携を図りながら検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（林 幹人君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。新規の路線認定というのは厳しいということをお伺いしました。ただ、やり方によっては地元の協力だとかを得ながら協議をしていけば、昇格の可能性もあるんじゃないかということの力強い御答弁をいただきました。本当にありがとうございます。今答弁していただきましたけれども、小池部長からも改めてその意気込みを一言お聞かせいただければありがたいなと思いますが、よろしくお願いします。

○委員長（林 幹人君） 小池部長。

○説明者（小池県土整備部長） 東総広域農道の県道昇格という話でございますが、銚子方面へアクセスするに当たりまして大変意味ある道路であろうと、私も何度かそちら方面に行くときには使わせていただいているところでございます。前々から委員のほうからも

非常に熱心に運動されていただいておりますし、また、関係市町のほうからも強い要望をいただいているところでございます。今後、沿線の市町からしっかりと意見を聞いて、いい方向へ検討してまいりたい、このように考えております。

以上でございます。

○委員長（林 幹人君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 力強い御答弁をいただきまして、ありがとうございました。ぜひよろしくお願いを申し上げまして、私の質問を終わります。